

2022年度 前期児童会選挙を実施しました

2022年度（令和4年度）前期児童会役員を決める児童会選挙が、1月に行われました。今回の立候補者の演説は、コロナ対策として、一人一人の演説を動画にとり、各教室に配信して行いました。どの立候補者も、学校をよりよくしていこうと意欲をもって演説をしました。



初めての全校に向けての演説で、緊張感が伝わる演説でしたが、どの立候補者も自分の公約をしっかりと伝えることができていました。

そして児童会選挙運動も終わり、1月20日（木）の朝、いよいよ児童会選挙本番を迎えました。立候補者それぞれが演説の内容をしっかりと考え、何度も練習し、各学級にライブ配信される本番に臨みました。マスクを取っての演説となるため、スタジオとなる放送室はしっかりと換気し、ソーシャルディスタンスを取り、人数制限をした上で生中継による放送を行いました。

今回の演説で印象的だったことが二つあります。

一つ目は、後期児童会がコロナ禍の中、様々なアイデアを出し学校を盛り上げたその姿勢を引き継ぎ、さらに学校を盛り立てていこうとする演説が多かったことです。そして、二つ目は数日前に放送された動画配信の姿より、当日はぐんと成長し、どの子どもも堂々とした演説となったことです。



放送が終わった後、校長から「あなたの学校をよくしようとするその熱意が、一人一人の成長につながっています。今後、前期児童会役員として活躍する中での成長も期待しています。」と激励の言葉をかけました。



また、立候補者でなく春から学校を支える4・5年生も、ポスターやたすきの作成、演説練習でのアドバイス、選挙の運営など、推薦者や選挙管理委員会を中心に、みんなで立候補者を支えました。

春から高学年となる現4・5年生の皆さん。新入生を迎えた旭丘小学校をしっかりと支えてくれるよう、一人一人の主体的な動きに期待しています。そして、後期児童会役員の皆さん、本当にお疲れ様でした。

専属パーソナルトレーナーとしての親の役割

～ 成長のための「最適な負荷」とは ～

つらい思い、悲しい思いを、我が子に感じさせたくないというのは、親がもつ当然の思いだと思います。そのような思いをさせないために、たくさんの方に気を配り、我が子の幸せを願っていることと思います。



ただし成長のためには、ある程度、様々な経験や失敗を積み重ね、難題を乗り越えさせることも必要です。もちろん絶望的な無理難題を課してくださいということではありません。

やったことは小さなことでも、「やり切ったという達成感」「褒められた喜び」「自分ではできるという自信」「そして、駄目だと思ったけれど、頑張ったらなんとかできた」という経験は、子どもにとって「自分なら何とかなる」という自己肯定感や成長の土台を形成するととても大事なものとなります。そのためには、「最後までやり切る『あきらめない心』を育てる経験」「失敗から学び『何回も挑戦し、失敗を踏まえ改善することの必要性』を感じる経験」、そして「駄目だと思ったけれども『頼ったり工夫したりすれば何とか解決できた』という問題解決に対する自信を高める経験」を、親自身が必要に応じて考える必要があります。と言いつても、特に**壮大なプロジェクト**を準備する必要はありません。

例えば、「〇〇の掃除を最後までお願い」「この料理を一緒に作ってみよう（そして次はもっと美味しくしよう）」「一緒に新しいことに挑戦してみよう」など、生活の中にある「仕事」で十分なのです。子どもが体験する「仕事」は解決のため工夫や段取りを自ら発見し達成感を感じる大切な場です。



スポーツジムなどで筋肉を鍛えるためには、最適な負荷をかける必要があるといえます。我が子の**たくましく生きる力**を育成するためにも、「**最適な負荷**」をマネジメントする必要があります。その専属スペシャルパーソナルトレーナーとして、どのような「**最適な負荷**」が必要か、我が子の将来を見据えながら、ぜひ考えてみてください。



日	曜	3月の校内行事
1	火	委員会活動
2	水	新1年生物品販売
3	木	六送会⑤ スクールカウンセラー(午後)
4	金	東部フェスタ作品搬入 常任委員会
5	土	資源回収③
6	日	東部フェスタ作品撤収
7	月	主任会
8	火	地域児童会
9	水	ようこそ美術館 4年 午後
10	木	卒練①
11	金	PTA4部会
12	土	大門中卒業式
13	日	花いっぱい活動
14	月	卒練①
15	火	卒練①
16	水	
17	木	
18	金	卒練①
19	土	
20	日	
21	月	春分の日
22	火	卒業証書授与式 午後
23	水	卒業証書授与式片づけ①（5年）
24	木	
25	金	修了式⑤・離任式⑥

■ 感染防止対策の徹底について ■

この度の感染に伴い、保護者の皆様には大変ご心配ご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。保健所の調査の結果、新たな感染者はもとより、濃厚接触者も一人もなく、校内の感染対策が徹底されていたとの言葉をいただきました。

今後も、リスクの高い教育活動の制限、及び正しいマスクの着用、手洗い、消毒、換気等の徹底に努めてまいります。引き続き、保護者の方による児童の健康管理にご協力をお願い致します。